

HOT BOX



堺市消防局公式インスタグラム

堺消防の「魅力」をお伝えします

堺市消防局では、広報媒体としてインスタグラムを活用しています。
広報活動を通じて、消防の業務、防火・防災思想の普及啓発を行っています。
また、動画による火災予防の啓発や、消防隊員の動きなど普段は見るこ
とができない視点から様々な動画も更新しています。



HOT BOX

職員採用状況

当消防局では、市民の安心・安全を守るために、高い向上心や柔軟な発想を持つ人材を求めています。

これまで多くの方に採用試験を受験してもらうために、大学や専門学校、高校等で消防局職員が当消防局について説明会を実施してきました。

近年は、少子化や働き方の多様化から消防吏員採用試験の受験者は全国的にも減少傾向にあります。

しかし、消防の使命である市民の生命・身体・財産を守るためにも継続的に優秀な人材を確保する必要があります。

このような現状にも負けず、積極的な採用活動を実施しています！！



《令和4年度消防吏員採用試験実施状況》

（大学卒程度）

試験区分	募集人数	申込者数	受験者数	第一次試験合格者数	第二次試験受験者数	最終合格者数	
		計	計	計	計	計	
大学卒程度	消防吏員Ⅰ	12名程度	98	78	55	55	20
	消防吏員Ⅱ	15名程度	57	39	26	25	9
	消防吏員Ⅲ (航海・機関)	若干名	2	1	1	0	0
	消防吏員Ⅳ (航海・機関)	若干名	4	3	2	2	1
合計		161	121	84	82	30	
倍率		8.1	6.1	4.2	4.1		

（高校卒程度）

試験区分	募集人数	申込者数	受験者数	第一次試験合格者数	第二次試験受験者数	最終合格者数	
		計	計	計	計	計	
高校卒程度	消防吏員A	12名程度	122	93	40	33	12
	消防吏員B (航海・機関)	若干名	2	2	1	0	0
合計		124	95	41	36	12	
倍率		24.8	19.0	8.2	7.2		

《令和4年度採用説明会実績》

- ・大阪法律専門学校：対面
- ・大阪音楽大学：オンライン
- ・大阪医専：対面
- ・大阪法律専門学校梅田校：対面
- ・公務員フォーラム：オンライン
- ・大阪体育大学：対面
- ・東洋医療専門学校：オンライン
- ・堺西高校：対面
- ・成美高校：対面
- ・消防本部合同WEBセミナー：オンライン

HOT BOX

堺市消防局災害活動支援隊

堺市消防局では、近い将来に発生が懸念される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震等大規模災害発生時に、同時多発する火災・救助・救急事案に迅速かつ的確に対応するため、平成27年9月1日に「災害活動支援隊」を発隊しました。

この災害活動支援隊は、本市の区域内で大規模な災害が発生した場合において、消防局長の命を受け、消防局及び消防署が行う消防活動を支援することを任務とし、本市の消防局OB職員で構成する組織です。

災害活動支援隊の令和5年4月1日現在の隊員数は、70名となっています。

今後も市民のさらなる安全・安心の確保と災害に強いまちづくりを推進してまいります。



近畿地方整備局・堺市総合防災訓練

HOT BOX

「指令」の多重化 ～スマートデバイスの導入～

堺市消防局では、堺市、高石市及び大阪狭山市からの119番通報を、消防指令センターで一括受信しています。

消防指令センターのオペレーターが、通報者から聞き取った情報を指令システムに入力することにより、指令システムが最も早く災害現場に到着できる消防車・救急車を自動的に選定し、その車両に乗車する隊員に対してオペレーターが現場に向かうよう「指令」を行います。

この「指令」は、消防隊員がいち早く災害現場に向かうため、迅速かつ確実に、隊員に届ける必要があります。

「指令」の主な方法として、

- ・ 消防署で待機している隊員 → 消防署の放送による音声指令、指令書の出力、無線による指令
- ・ 庁舎外で活動している隊員 → 無線による指令、車載端末への指令

など、主に4パターンがありますが、高い建物などの障害物の影響で無線が届きにくい場所でも指令が受けられるように、第5の指令の仕組みとして令和2年度に、指令を受けるためのスマートフォンタイプの端末「スマートデバイス」を導入しました。

この「スマートデバイス」を導入したことにより、万一、庁舎外で活動している隊員に、無線による指令が届かなかった場合には「スマートデバイス」で指令が届けることが可能となりました。



HOT BOX

まちかど救急ステーション事業

「まちかどAED」



AEDの貸し出しにご協力ください

「まちかど救急ステーション事業」とは、消防局管内でAEDを設置されている施設の情報を「まちかどAED」として登録し、119通報受信時に市民に情報提供することで、AEDを必要とする状態の方を、一人でも多く救命するための事業です。

登録された施設にはステッカーやのぼりによる標示を行っていただくとともに、施設外部から貸し出しの求めがあった場合にはAEDの貸し出しにご協力いただきます。外部への貸し出しにより使用された電極パッドなどについては消防局から交換品を支給することができます。

事業所、販売店、居住施設など施設の用途は問わず、登録施設を募集しております。

令和4年2月には、会社の事務所で心肺停止状態となった男性に対して、同僚は119番通報し胸骨圧迫を行うほか、オペレーターの指示により近くのコンビニにAEDを取りに向かい、救急車が到着するまでに電気ショックを与えたことにより、男性は後遺症なく職場復帰するという奏功事例がありました。

いざという時のために、まちかどAEDマップでお近くのAEDの設置場所をご確認ください。

【まちかどAEDマップ・登録申請はこちら】



HOT BOX

堺市総合防災センター体験コースリニューアル！

令和5年4月から、水圧ドア体験や救出救助体験などの個別体験プログラムが、様々な災害状況に特化した4つの災害種別コースとして生まれ変わりました。消防職員から、より専門的な技術を学ぶことができるコースとなっております。※体験前日までの事前予約が必要です。

また、避難行動要支援者の方に特化した「要支援者避難コース」も創設しましたので、福祉施設の方等、ぜひご利用ください。

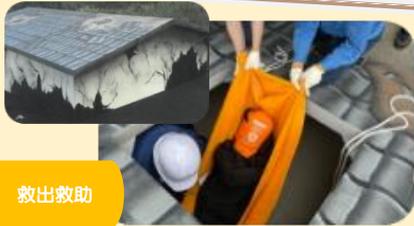
水害コース（75分）

水圧ドア体験、水害救助体験

水圧ドア



水難救助



救出救助

救出救助コース（75分）

応急担架、圧迫止血、重量物除去体験、救出救助体験

火災コース（75分）

消防用設備体験、消火体験、煙暗闇避難体験



消防用設備

避難所生活コース（75分）

マンホールトイレ、防災倉庫・備蓄倉庫見学、要支援者体験



マンホールトイレ

要支援者避難コース（55分）

地震体験、煙暗闇避難体験、悪路避難体験

悪路避難



ホームページはこちら

詳細は、堺市総合防災センターホームページまで

HOT BOX

消防法（危険物関係）、保安3法の手続きは
全て堺市電子申請システムに対応しています！

堺市では行政手続きの受付をオンライン上で行うことができ、消防法（危険物関係）、保安3法に関する全ての手続きが電子申請に対応しています。

このサービスにより、事業所において様々な面で事務が効率化されたとの声が多くあり、利用される事業所も徐々に増えてきています。

～導入による事業所のメリット～

- ペーパーレスによるコスト削減
- 24時間いつでもどこでも申請可能
- 審査状況等もwebから随時確認
- 手数料の支払いについて電子決済対応
(クレジット決済、ID決済 (PayPay、LINE Pay))

PCだけでなくスマートフォンからも簡単に手続きが可能です。
ぜひこの機会にご利用を検討してみてはいかがでしょうか！！



詳しくは、HPをご確認ください。



<https://lgpos.task-asp.net/cu/271403/ea/residents/portal/home>

HOT BOX

堺市美原消防団の活動について

消防団は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域住民の生命、身体、財産を守るため設置されており、消防団員は各自職業（生業）に就きながら、火災等災害の予防・警戒等をはじめ、地域住民への訓練指導など、様々な活動を行っています。

平成27年度から放置ボンベ搜索を開始し、令和4年度には5本の放置ボンベを発見したため、これまでの通算は32本となりました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各種行事が中止となり例年と比較すると満足な活動はできませんでしたが、水火災出場1回（延8人）、警戒出場40回（延225人）、訓練等参加41回（延226人）の合計82回（延459人）の出場、参加実績となりました。

また、令和4年4月より消防団強化訓練を開始しました。毎月1回分団毎に消火・救助・救急を主とした訓練を消防職員と連携して行う事で、災害対応力の向上はもとより、安全管理対策の再徹底も図り、地域防災力をより一層強化します。



チェーンソーによる伐木等の業務特別教育



放置ボンベ搜索活動



消防団強化訓練